

垂秀夫・日本国在中国大使 挨拶

本日は、中国湖北省—日本関西地区間の海運連結協力プロジェクトに関する協カイベントが盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

本プロジェクトの実現に当たり、湖北省人民政府を始めとする中国側関係者の皆様、並びに日本国際貿易促進協会を始めとする日本側関係者の皆様の御尽力に深く敬意を表します。

ちょうど半世紀前、日中の国交が正常化した後、ここ武漢市の鉄鋼業の設備近代化に向け、日本の新日本製鐵大分製鉄所を中心とする多くの技術者と機械設備が武漢に到着しました。それ以来、半世紀近くの間、湖北省と日本との間では、経済面・文化面で活発な交流が行われ、関係を深めてきました。

現在、武漢市を中心とする湖北省には、約160の日系企業が進出しており、鉄鋼・自動車などの製造業、小売業などのサービス業を中心に、湖北省の経済成長に大きく貢献しております。

今年3月、ちょうど桜の咲く時期に、私は湖北省を公式訪問し、応勇書記を始め湖北省関係者の皆様と親しく話すとともに、日系企業の活躍ぶりを視察して、湖北省と日本とのつながりを実感したところであります。

そして今般、日本の関西地区と中国湖北省を結ぶコンテナ船の定期運航と、中欧班列を利用した欧州方面との一貫輸送を実現する本プロジェクトにより、湖北省と日本との関係のパイプがまた一つ太くなるものと思います。

中国の交通の要衝であり、中欧班列の拠点でもある湖北省には、誰もが認める「地の利」があります。

そして間もなく日中国交正常化50周年という節目の年を迎える今、いわば「天の時」を得て、折良く湖北省の皆様と日本国貿促の皆様が築き上げてきた「人の和」が本プロジェクトとして結実いたしました。

物事の成功には、「天の時、地の利、人の和」の三つが必要と人口に膾炙されております。この三つを兼ね備えた本プロジェクトの成功を確信しつつ、今回の活動を契機として、湖北省と日本とのつながりが更に深くなることを期待しております。

最後になりますが、本イベントの御成功をお祈りし、そして皆様の御健勝と益々の御発展をお祈りして、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(了)